● 高病原性鳥インフルエンザから愛玩鶏を守るためのポイント ●

高病原性鳥インフルエンザウイルスの侵入を防止しましょう!

〈日常の飼育管理の徹底を!〉

①毎日、愛玩鶏を観察し、飼育小屋やその周辺を清潔に保ちましょう。
②世話をした後は、手洗いやうがいをしましょう。
③他の養鶏場や仲間の飼育場への立入は自粛しましょう。

〈野鳥等と接触させない!〉

①小屋に金網や防鳥ネット(2cm角以下)を張り、隙間を塞ぐ。
②餌や水は小屋の中に置き、餌が小屋の周辺に散乱しないようにする(写真3)。
③衛生的な水道水や井戸水を与える。
④小屋のそばに野鳥や野生動物が好む実のなる樹木を植えることを避ける。

〈ウイルスを持ち込まない!〉

①世話をするときは、専用の履物、衣服を身につける。
②飼育場所の出入口に、踏込消毒槽やアルコールスプレーなどを設置し、出入の時に履物、衣服、手を消毒する(写真4)。

写真3　板を使った餌の散乱防止

写真4　人を介したウイルス侵入対策

高病原性鳥インフルエンザが発生した場合は

①愛玩鶏の導入や仲間との交流(品評会を含む)はやめましょう。
②国内で発生があっても、直ちに家庭等で飼育している愛玩鶏に感染するものではありませんので、愛玩鶏を野山に放したり、処分することなく、冷静に対応しましょう。

消石灰の散布について

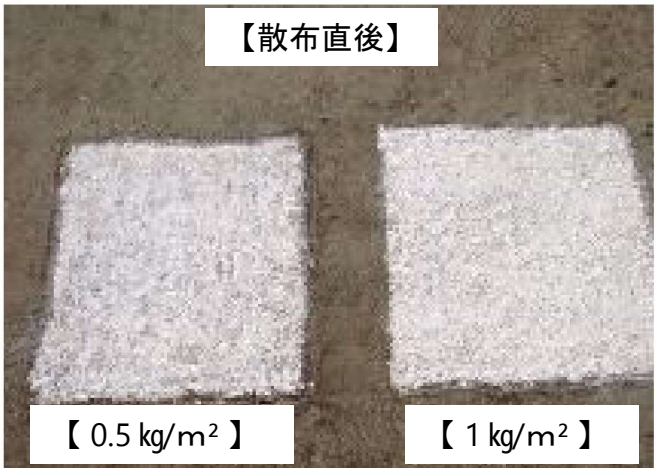
（1）使用場所

- 農場内の外部車両が停止する場所
- 鶏舎周囲、農場外縁部

【　鶏舎周囲・農場外縁部での散布イメージ　】

（2）使用方法

- 0.5 ～ 1 kg/m² を目安にホウキ等で均一に広げる
  （20 ～ 40 m² 当たり消石灰 1 袋　20 kg）
- 地面の表面がムラなく白くなる程度



石灰の取扱上の注意

散布時は、直接「皮膚 ・ 口 ・ 呼吸器」等に付着しないように「マスク ・ メガネ（ゴーグル） 、 ゴム手袋」等を着用してください。

飲用水の消毒について

飲用水は新鮮な水道水を使用しましょう。（貯留したままにすると塩素濃度が低下します）
水道水以外（川・池・井戸水等）を使用する際には、塩素消毒をしたものを使用してください。